

(様式3)

30年度 動物実験等に関する報告

増養殖研研究所

項 目	報 告 内 容
<b>1 動物実験等の実施状況</b>	
(1) 実施件数	当該年度の実験件数の合計 3 件
(2) 使用動物種	当該年度の実験に使用した全動物種名 マウス
(3) 関係研究課題数	当該年度の全実験課題数 5 課題
(4) 実験課題	課題を順次記載 ①魚介類における疾病診断および健康診断技術の開発 ②病原体特性及び発症要因の解明とそれを利用した防除技術の開発 ③未解決疾病の感染予防技術の開発 ④魚類病原体ゲノム情報を利用した網羅的エピトープマッピング ⑤魚類グランザイムによる細胞傷害機構解明とそれに基づく水産用ワクチン評価法の開発
<b>2 点検・評価結果</b>	
(1) 所内規程の制定	・増養殖研究所動物実験委員会規則（平成23年4月1日制定、平成24年11月19日改正） ・増養殖研究所動物実験に関する指針（平成25年4月19日施行） ・Guidelines for Animal Experimentation National Research Institute of Aquaculture, FRA, Japan (The Guidelines shall be effective from April 19, 2013)（上記指針の英訳版）
(2) 動物実験委員会の設置状況・構成	1) 業務推進部長、魚病研究センター長、魚病研究センター免疫グループ長 2) 動物実験を行う研究センターから各1名 3) その他必要に応じ委員長の指名する動物実験等及び実験動物に関して優れた識見を有する者及び学識経験を有する者 4) 委員長は業務推進部長とし、副委員長は魚病研究センター長とする。事務局は推進課に置く。
(3) 動物実験等の実施状況	実施された実験は上記3件
(4) 教育訓練等の実施	本部で実施された「動物実験勉強会」の資料を研究者へ配布した。
(5) 実験動物の飼養等	特段問題なく飼育されていた。
(6) 緊急時の対応	発生しなかった。
(7) 総合評価	特段の問題はない。